



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 壽信

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 中村 太樹

TEL 03-6447-5799

配当支払開始予定日 一

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	132,484	13.2	39,816	30.4	27,678	33.2
2025年3月期第3四半期	117,016	13.8	30,512	12.8	20,777	11.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 39,953百万円 (482.1%) 2025年3月期第3四半期 6,862百万円 (△64.2%)

	1株当たり四半期純利益 円 銭	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 円 銭	
		2026年3月期第3四半期	2025年3月期第3四半期
	904.59	731.31	
	682.84	478.92	

(2) 連結財政状態

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %
2026年3月期第3四半期	7,273,005	405,852	5.5
2025年3月期	7,094,566	371,316	5.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 405,811百万円 2025年3月期 371,278百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示(2006年金融庁告示第20号)に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末 円 銭	第2四半期末 円 銭	第3四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
2025年3月期	—	75.00	—	85.00	160.00
2026年3月期	—	85.00	—		
2026年3月期(予想)				85.00	170.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益 円 銭
通期	百万円	%	百万円	%	
	47,000	12.8	33,000	5.2	1,071.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	30,650,115株	2025年3月期	30,650,115株
②期末自己株式数	2026年3月期3Q	362,538株	2025年3月期	423,483株
③期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	30,254,377株	2025年3月期3Q	30,187,391株

(注) 当社は、株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第1回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 —	円 140.00	円 —	円 140.00	円 280.00
2026年3月期	—	193.00	—		
2026年3月期(予想)				193.00	386.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2025年3月期

① 算式

$$\text{配当金} = 1 \text{株当たりの払込金額} \times \text{配当年率}$$

② 配当年率(※)

$$\text{配当年率} = \text{日本円TIBOR} + 1.1\%$$

③ 日本円TIBOR

$$2024年4月1日における日本円TIBOR(12ヶ月物) = 0.29545\%$$

④ 発行済株式数

750,000株

(2) 2026年3月期(予想)

① 算式

$$\text{配当金} = 1 \text{株当たりの払込金額} \times \text{配当年率}$$

② 配当年率(※)

$$\text{配当年率} = \text{日本円TIBOR} + 1.1\%$$

③ 日本円TIBOR

$$2025年4月1日における日本円TIBOR(12ヶ月物) = 0.82818\%$$

④ 発行済株式数

750,000株

※ 配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 —	円 29.545	円 —	円 29.545	円 59.090
2026年3月期	—	82.818	—		
2026年3月期(予想)				82.818	165.636

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2025年3月期

① 算式

$$\text{配当金} = 1 \text{株当たりの払込金額} \times \text{配当年率}$$

② 配当年率

$$\text{配当年率} = \text{日本円TIBOR} + 0.0\%$$

③ 日本円TIBOR

$$2024年4月1日における日本円TIBOR(12ヶ月物) = 0.29545\%$$

④ 発行済株式数

2,000,000株

(2) 2026年3月期(予想)

① 算式

$$\text{配当金} = 1 \text{株当たりの払込金額} \times \text{配当年率}$$

② 配当年率

$$\text{配当年率} = \text{日本円TIBOR} + 0.0\%$$

③ 日本円TIBOR

$$2025年4月1日における日本円TIBOR(12ヶ月物) = 0.82818\%$$

④ 発行済株式数

2,000,000株

【添付資料の目次】

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表	3~4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5~6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7~10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	10
(重要な後発事象の注記)	10

3. 2026年3月期第3四半期決算説明資料

(1) 損益の状況	11~12
(2) R.O.E	13
(3) O.H.R	13
(4) 自己資本比率（国内基準）	14~15
(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権	16~17
(6) 貸出金・預金残高等の状況	18~20
(7) 時価のある有価証券の評価損益	21

東京きらぼしフィナンシャルグループ 2026年3月期 第3四半期 決算概要

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結業績の大半を占めるきらぼし銀行の経常利益が375億円（前年同期比+73億円）、四半期純利益は262億円（同比+52億円）となりましたが、内部取引の消去など連結決算上の調整を行ったことにより、経常利益が398億円（前年同期比+93億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は276億円（同比+69億円）となりました。

なお、きらぼし銀行の経営成績における主な増減要因（前年同期比）は、以下のとおりです。

- ① 貸出金利息※1 : メイン化取引の推進、お客さまとのリレーション強化の取組み等により貸出金が増加、また、政策金利上昇の影響等により貸出金利回りも上昇し、前年同期比+98億円。
- ② 有価証券利息配当金 : ファンド収益の増加（+37億円）等により同比+33億円。
- ③ その他資金利益 : 金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比△81億円。
- ④ 非金利収支※2 : 円債及び外債のヘッジコストが減少したこと等により同比+31億円。
- ⑤ 経費 : 事務委託費等物件費の増加等により同比△12億円。
- ⑥ 与信関係費用 : 貸倒実績率の上昇により貸倒引当金が増加した一方、金融再生支援や予兆管理強化等により費用発生は抑制されたこと等により同比+0億円。
- ⑦ 債券・株式等関係損益 : 債券の売却損が減少した一方、株式の売却益の減少等により同比△1億円。

※1 貸出金利息には実質無利子・無担保融資等自治体から事後的に補給される利子補給金が含まれております。

※2 非金利収支は、コア業務粗利益を構成する計数のうち、資金利益を除いたものです。

（非金利収支=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益（国債等債券損益を除く））

※3 上表の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「△」で表示しております。

経営成績の概況の詳細につきましては、添付資料22ページ「東京きらぼしフィナンシャルグループ 2026年3月期第3四半期 決算概要」をご覧ください。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比1,784億円増加し7兆2,730億円となり、純資産は前連結会計年度末比345億円増加し4,058億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比3,153億円増加し6兆4,229億円、貸出金は前連結会計年度末比1,789億円増加し5兆1,591億円、有価証券は前連結会計年度末比952億円増加し9,299億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月1日に公表いたしました2026年3月期の業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	980,840	863,891
コールローン及び買入手形	9,829	9,900
買入金銭債権	70,165	65,858
商品有価証券	1,190	1,416
金銭の信託	5,132	6,188
有価証券	834,771	929,972
貸出金	4,980,179	5,159,152
外国為替	5,658	5,203
リース債権及びリース投資資産	31,098	34,981
その他資産	71,586	96,625
有形固定資産	58,439	58,364
無形固定資産	16,195	15,502
退職給付に係る資産	35,812	38,009
繰延税金資産	8,903	3,148
支払承諾見返	7,822	7,855
貸倒引当金	△23,061	△23,066
資産の部合計	7,094,566	7,273,005
負債の部		
預金	6,107,621	6,422,931
譲渡性預金	328,200	174,030
コールマネー及び売渡手形	27,196	21,252
債券貸借取引受入担保金	128,696	119,385
借用金	47,910	47,084
外国為替	560	765
社債	4,220	3,260
その他負債	67,190	68,546
賞与引当金	1,906	542
役員賞与引当金	180	—
株式報酬引当金	395	202
退職給付に係る負債	138	86
役員退職慰労引当金	49	111
ポイント引当金	114	121
睡眠預金払戻損失引当金	107	57
偶発損失引当金	873	827
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	66	91
支払承諾	7,822	7,855
負債の部合計	6,723,250	6,867,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	151,024	151,097
利益剰余金	199,225	221,247
自己株式	△1,309	△1,144
株主資本合計	376,440	398,700
その他有価証券評価差額金	△18,299	△10,851
繰延ヘッジ損益	2,498	8,181
土地再評価差額金	△242	△242
為替換算調整勘定	36	50
退職給付に係る調整累計額	10,845	9,973
その他の包括利益累計額合計	△5,161	7,110
新株予約権	9	9
非支配株主持分	28	31
純資産の部合計	371,316	405,852
負債及び純資産の部合計	7,094,566	7,273,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	117,016	132,484
資金運用収益	67,406	84,109
(うち貸出金利息)	52,620	63,402
(うち有価証券利息配当金)	13,097	16,668
信託報酬	229	291
役務取引等収益	17,558	20,677
その他業務収益	3,139	3,989
その他経常収益	28,681	23,415
経常費用	86,503	92,667
資金調達費用	6,586	19,051
(うち預金利息)	4,127	15,892
役務取引等費用	2,932	3,630
その他業務費用	9,306	1,567
営業経費	48,537	51,069
その他経常費用	19,140	17,348
経常利益	30,512	39,816
特別利益	110	505
固定資産処分益	110	505
特別損失	104	122
固定資産処分損	104	122
税金等調整前四半期純利益	30,517	40,200
法人税等	9,740	12,519
四半期純利益	20,777	27,681
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,777	27,678

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	20,777	27,681
その他の包括利益	△13,914	12,271
その他有価証券評価差額金	△14,327	7,432
繰延ヘッジ損益	1,263	5,682
為替換算調整勘定	4	13
退職給付に係る調整額	△850	△872
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	15
四半期包括利益	6,862	39,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,863	39,950
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の処理)

連結財務諸表作成における税金費用は、当社及び連結子会社の当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	94,637	10,563	105,200	12,278	117,479
セグメント間の内部経常収益	105	656	761	15,032	15,794
計	94,742	11,220	105,962	27,311	133,273
セグメント利益	29,392	316	29,708	11,021	40,730

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位：百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	105,962
「その他」の区分の経常収益	27,311
パークチス法による調整	△462
セグメント間取引消去	△15,794
四半期連結損益計算書の経常収益	117,016

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,708
「その他」の区分の利益	11,021
パークチス法による調整	△558
セグメント間取引消去	△9,659
四半期連結損益計算書の経常利益	30,512

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	109,166	11,554	120,721	11,963	132,684
セグメント間の内部経常収益	297	721	1,018	11,425	12,444
計	109,463	12,276	121,740	23,388	145,129
セグメント利益	38,142	297	38,440	7,480	45,920

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位：百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	121,740
「その他」の区分の経常収益	23,388
ペーチェス法による調整	△199
セグメント間取引消去	△12,444
四半期連結損益計算書の経常収益	132,484

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	38,440
「その他」の区分の利益	7,480
ペーチェス法による調整	△302
セグメント間取引消去	△5,800
四半期連結損益計算書の経常利益	39,816

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,329百万円	5,505百万円
のれんの償却額	375百万円	375百万円

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

3. 2026年3月期第3四半期決算説明資料

(1) 損益の状況

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2026年3月期第3四半期の経常収益は、前年同期比15,468百万円増加の132,484百万円、経常利益は前年同期比9,304百万円増加の39,816百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比6,900百万円増加の27,678百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年 12月期	2024年 12月期比	2024年 12月期
経常収益	1	132,484	15,468	117,016
業務粗利益	2	84,819	15,310	69,508
（除く国債等債券損益（5勘定戻））	3	(83,354)	(10,167)	(73,187)
資金利益	4	65,057	4,237	60,819
信託報酬	5	291	62	229
役務取引等利益	6	17,047	2,420	14,626
その他業務利益	7	2,422	8,589	△6,166
経費（除く臨時処理分）	8	52,348	2,860	49,487
与信関係費用	9	2,182	217	1,964
株式等関係損益	10	5,978	△3,941	9,919
持分法による投資損益	11	9	2	6
その他	12	3,540	1,010	2,530
経常利益	13	39,816	9,304	30,512
特別損益	14	383	378	5
税金等調整前四半期純利益	15	40,200	9,682	30,517
法人税等	16	12,519	2,778	9,740
四半期純利益	17	27,681	6,904	20,777
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	18	3	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	27,678	6,900	20,777

② きらぼし銀行

【単体】

2026年3月期第3四半期の単体業績は、金利上昇に伴う預金利息の増加や株式等売却益が減少するも、メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等による貸出金利息やファンド収益が増加したこと等により、経常利益が前年同期比7,331百万円増加の37,505百万円、四半期純利益は前年同期比5,245百万円増加の26,241百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年 12月期	2024年 12月期比	2024年 12月期
経常収益	1	103,507	9,522	93,985
業務粗利益 (除く国債等債券損益(5勘定戻)) 【コア業務粗利益】	2 3	74,735 (74,276)	11,862 (8,267)	62,872 (66,008)
資金利益	4	65,183	5,075	60,108
信託報酬	5	291	62	229
役務取引等利益	6	8,223	△334	8,558
その他業務利益	7	1,035	7,059	△6,023
経費(除く臨時処理分)	8	42,390	1,204	41,185
人件費	9	16,639	317	16,321
物件費	10	21,889	750	21,138
税金	11	3,861	136	3,725
業務純益(一般貸倒引当金繰入前) 【実質業務純益】 (除く国債等債券損益(5勘定戻)) 【コア業務純益】 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	12 13 14	32,344 (31,885) (32,060)	10,657 (7,062) (7,242)	21,686 (24,822) (24,818)
一般貸倒引当金繰入額 ①	15	107	1,047	△939
業務純益 (うち国債等債券損益(5勘定戻))	16 17	32,236 (459)	9,610 (3,595)	22,626 (△3,135)
臨時損益	18	5,269	△2,278	7,547
不良債権処理額 ②	19	1,469	△1,090	2,559
貸出金償却	20	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	21	1,094	△1,034	2,128
債権売却損	22	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	23	△45	△41	△4
信用保証協会責任共有制度負担金	24	400	△19	419
その他不良債権処理額	25	19	4	15
貸倒引当金戻入益 ③	26	—	—	—
償却債権取立益	27	1	△9	11
株式等関係損益	28	6,084	△3,764	9,848
その他臨時損益	29	652	404	247
経常利益	30	37,505	7,331	30,174
特別損益	31	242	412	△170
税引前四半期純利益	32	37,748	7,744	30,003
法人税等	33	11,506	2,499	9,006
四半期純利益	34	26,241	5,245	20,996
与信関係費用 ①+②-③	35	1,577	△42	1,620

【連結】

(単位：百万円)

		2025年 12月期	2024年 12月期比	2024年 12月期
経常収益	36	108,595	8,953	99,641
経常利益	37	38,350	7,524	30,826
親会社株主に帰属する四半期純利益	38	26,739	5,347	21,391

(2) ROE

東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：%)

	2025年 12月期	2024年 12月期比	2024年 12月期
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	9.45	1.91	7.53

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2025年 12月期	2024年 12月期比	2024年 12月期
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	11.60	3.35	8.25
業務純益ベース	11.56	2.95	8.61
コア業務純益ベース	11.43	1.99	9.44
四半期純利益ベース	9.41	1.42	7.98

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

きらぼし銀行【連結】

(単位：%)

	2025年 12月期	2024年 12月期比	2024年 12月期
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	10.77	3.22	7.55
業務純益ベース	10.73	2.84	7.89
コア業務純益ベース	10.61	1.93	8.68
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	9.16	1.45	7.71

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

(3) OHR

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2025年 12月期	2024年 12月期比	2024年 12月期
コア業務粗利益ベース	57.07	△5.32	62.39
業務粗利益ベース	56.72	△8.78	65.50

$$(注) \text{ OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

(4) 自己資本比率（国内基準）

①東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円、%)

		2025年 12月末	2025年 9月末比	2025年 9月末
(1) 自己資本比率	(2) ÷ (3)	9.03	△0.04	9.07
(2) 自己資本		375,171	7,850	367,321
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		398,700	8,424	390,276
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		4,778	298	4,480
(3) リスク・アセット等		4,152,873	106,645	4,046,228
(4) 総所要自己資本額	(3) × 4 %	166,114	4,265	161,849

②きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

		2025年 12月末	2025年 9月末比	2025年 9月末
(1) 自己資本比率	(2) ÷ (3)	9.63	0.00	9.63
(2) 自己資本		375,060	7,534	367,525
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		391,581	7,993	383,587
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		4,565	289	4,275
(3) リスク・アセット等		3,892,375	77,454	3,814,920
(4) 総所要自己資本額	(3) × 4 %	155,695	3,098	152,596

③きらぼし銀行【連結】

(単位：百万円、%)

		2025年 12月末	2025年 9月末比	2025年 9月末
(1) 自己資本比率	(2) ÷ (3)	9.69	0.00	9.69
(2) 自己資本		379,833	7,550	372,282
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		398,177	8,016	390,161
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		4,655	287	4,368
(3) リスク・アセット等		3,916,932	77,712	3,839,220
(4) 総所要自己資本額	(3) × 4 %	156,677	3,108	153,568

④U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

		2025年 12月末	2025年 9月末比	2025年 9月末
(1) 自己資本比率	(2) ÷ (3)	7.11	1.53	5.57
(2) 自己資本		17,666	4,815	12,850
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		20,265	4,974	15,291
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		135	△7	142
(3) リスク・アセット等		248,277	17,970	230,306
(4) 総所要自己資本額	(3) × 4 %	9,931	718	9,212

(注) 「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。

また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーションル・リスク相当額の算出においては標準的計測手法を採用しております。

(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権

① きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 12月末	2025年 9月末比	2024年 12月末比	2025年 9月末	2024年 12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,036	△436	△4,455	14,472	18,491
危険債権	66,179	△1,300	△7,813	67,479	73,993
要管理債権	5,288	386	△1,501	4,901	6,789
三月以上延滞債権額	249	106	△53	143	302
貸出条件緩和債権額	5,039	280	△1,447	4,758	6,486
小計 (A)	85,504	△1,350	△13,769	86,854	99,274
正常債権	4,933,094	48,361	79,510	4,884,733	4,853,583
総与信残高 (B)	5,018,598	47,010	65,740	4,971,587	4,952,857
総与信残高に占める割合 (A) ÷ (B)	1.70	△0.04	△0.30	1.74	2.00

② U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 12月末	2025年 9月末比	2024年 12月末比	2025年 9月末	2024年 12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	65	32	59	33	5
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	65	32	59	33	5
正常債権	201,086	41,993	186,339	159,093	14,747
総与信残高 (B)	201,152	42,025	186,399	159,126	14,753
総与信残高に占める割合 (A) ÷ (B)	0.03	0.01	△0.00	0.02	0.03

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

部分直接償却を実施した場合

① きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 12月末	2025年 9月末比	2024年 12月末比	2025年 9月末	2024年 12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,400	△561	△2,723	5,962	8,123
危険債権	66,179	△1,300	△7,813	67,479	73,993
要管理債権	5,288	386	△1,501	4,901	6,789
三月以上延滞債権額	249	106	△53	143	302
貸出条件緩和債権額	5,039	280	△1,447	4,758	6,486
小計 (A)	76,867	△1,476	△12,038	78,344	88,906
正常債権	4,933,094	48,361	79,510	4,884,733	4,853,583
総与信残高 (B)	5,009,962	46,885	67,472	4,963,077	4,942,490
総与信残高に占める割合 (A) ÷ (B)	1.53	△0.04	△0.26	1.57	1.79

② U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 12月末	2025年 9月末比	2024年 12月末比	2025年 9月末	2024年 12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	65	32	59	33	5
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	65	32	59	33	5
正常債権	201,086	41,993	186,339	159,093	14,747
総与信残高 (B)	201,152	42,025	186,399	159,126	14,753
総与信残高に占める割合 (A) ÷ (B)	0.03	0.01	△0.00	0.02	0.03

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(6) 貸出金・預金残高等の状況

① 貸出金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
貸出金（末残） (除く特別国際金融取引勘定)（末残）(A)	4,989,365 (4,989,365)	46,153 (46,153)	67,907 (67,907)	4,943,211 (4,943,211)	4,921,457 (4,921,457)
中小企業等貸出金(B) うち消費者ローン	3,922,837 646,301	33,036 △8,529	△62,515 △41,941	3,889,800 654,831	3,985,353 688,242
中小企業等貸出比率(B) ÷ (A)	78.62	△0.06	△2.35	78.68	80.97

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
貸出金（末残） (除く特別国際金融取引勘定)（末残）(A)	201,009 (201,009)	41,989 (41,989)	186,262 (186,262)	159,020 (159,020)	14,746 (14,746)
中小企業等貸出金(B) うち消費者ローン	201,009 201,009	41,989 41,989	186,262 190,052	159,020 159,020	14,746 10,957
中小企業等貸出比率(B) ÷ (A)	100.00	—	—	100.00	100.00

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円、%)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
貸出金（末残） (除く特別国際金融取引勘定)（末残）(A)	5,190,374 (5,190,374)	88,142 (88,142)	254,170 (254,170)	5,102,231 (5,102,231)	4,936,204 (4,936,204)
中小企業等貸出金(B) うち消費者ローン	4,123,846 847,311	75,025 33,459	123,746 148,111	4,048,821 813,851	4,000,100 699,200
中小企業等貸出比率(B) ÷ (A)	79.45	0.09	△1.58	79.35	81.03

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(2) 預金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
預金（未残）	5,617,093	△146,377	180,282	5,763,471	5,436,811
個人預金	2,909,099	13,507	△63,667	2,895,592	2,972,766
法人預金	2,336,076	△129,139	202,563	2,465,216	2,133,513
その他預金	371,917	△30,744	41,386	402,662	330,531

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
預金（未残）	828,836	42,793	332,747	786,042	496,088
個人預金	813,119	35,036	317,030	778,082	496,088
法人預金	15,717	7,757	15,717	7,959	—

(注) U I 銀行では2025年7月より法人預金の取り扱いを開始しております。

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
預金（未残）	6,445,930	△103,583	513,030	6,549,514	5,932,899
個人預金	3,722,218	48,543	253,363	3,673,674	3,468,854
法人預金	2,351,793	△121,382	218,280	2,473,176	2,133,513
その他預金	371,917	△30,744	41,386	402,662	330,531

(注) U I 銀行では2025年7月より法人預金の取り扱いを開始しております。

(3) 預かり資産残高

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
預かり資産	452,728	10,183	19,064	442,544	433,664
投資信託	160,517	6,787	6,434	153,730	154,082
生命保険	277,784	2,537	12,441	275,247	265,342
公共債	14,426	858	187	13,567	14,239

(2) きらぼしライフデザイン証券

(単位：百万円)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
預かり資産	452,767	91,190	144,080	361,577	308,687
投資信託	379,334	72,461	95,745	306,872	283,589
公共債	645	99	413	545	231
その他	72,787	18,628	47,921	54,159	24,866

(3) きらぼし銀行及びきらぼしライフデザイン証券の合算

(単位：百万円)

	2025年 12月末			2025年 9月末	2024年 12月末
		2025年 9月末比	2024年 12月末比		
預かり資産	905,496	101,373	163,144	804,122	742,351
投資信託	539,852	79,249	102,180	460,603	437,671
生命保険	277,784	2,537	12,441	275,247	265,342
公共債	15,071	958	600	14,112	14,470
その他	72,787	18,628	47,921	54,159	24,866

(4) 信託業務

きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年 12月期			2025年 9月期比	2024年 12月期比
		2025年 9月期比	2024年 12月期比		
公共工事代金債権信託	取扱金額	38,467		9,484	23,503
	期末残高	40,913	889	15,150	40,024
不動産管理信託	取扱金額	7,557		△2,803	7,350
	期末残高	105,463	△7,354	△1,479	112,818
その他	取扱金額	15		△9	9
	期末残高	694	△49	△217	743
合計	取扱金額	46,040		6,671	30,863
	期末残高	147,071	△6,514	13,453	153,586

(注) 取扱金額は算定金額が異なるため、2025年9月期比は記載しておりません。

(7) 時価のある有価証券の評価損益

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2025年12月末			2024年12月末			
	評価損益	2024年 12月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,077	305	—	1,077	△1,383	—	1,383
その他有価証券	△22,467	1,904	34,471	56,939	△24,371	18,204	42,576
株式	22,498	8,073	22,792	294	14,424	14,867	442
債券	△42,649	△22,744	151	42,801	△19,904	228	20,133
その他	△2,316	16,575	11,528	13,844	△18,891	3,108	22,000

② きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2025年12月末			2024年12月末			
	評価損益	2024年 12月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△576	639	—	576	△1,215	—	1,215
その他有価証券	△21,986	2,185	33,689	55,676	△24,172	17,760	41,933
株式	21,784	7,834	22,078	294	13,950	14,391	440
債券	△41,685	△22,070	160	41,846	△19,615	273	19,889
その他	△2,084	16,422	11,450	13,535	△18,507	3,095	21,603

TOKYOに、つくそう。



東京きらぼしフィナンシャルグループ
2026年3月期 第3四半期
決算概要

2026年3月期 第3四半期決算サマリー

東京きらぼしFG(連結)

	① 24/12 (実績)	② 25/12 (実績)	前年同期比 (②-①)	③ 26/3 (業績予想)	進捗率 (② / ③)	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
1 経常利益	305	398	+93	470	84.7%	前年同期比 +30.4% (305億円 → 398億円)	前年同期比 +33.2% (207億円 → 276億円)
2 親会社株主に帰属する四半期純利益	207	276	+69	330	83.8%		

きらぼし銀行(単体)

	① 24/12 (実績)	② 25/12 (実績)	前年同期比 (②-①)	③ 26/3 (業績予想)	進捗率 (② / ③)	(億円)
1 コア業務粗利益	660	742	+82	950	78.1%	
2 資金利益	601	651	+50	880	—	
3 貸出金利息	526	625	+98	857	—	
4 有価証券利息配当金	131	164	+33	204	—	
5 預金等利息	▲33	▲120	▲86	▲145	—	
6 その他利息	▲22	▲17	+5	▲35	—	
7 非金利収支	59	90	+31	70	—	
8 経費	▲411	▲423	▲12	▲549	—	
9 コア業務純益	248	318	+70	401	79.5%	
10 与信関係費用	▲16	▲15	+0	▲50	—	
11 国債等債券損益	▲31	4	+35	11	—	
12 株式等関係損益	98	60	▲37	60	—	
13 その他臨時損益	2	6	+3	▲1	—	
14 経常利益	301	375	+73	421	89.0%	
15 特別損益	▲1	2	+4	▲2	—	
16 法人税等合計	▲90	▲115	▲24	▲128	—	
17 四半期純利益	209	262	+52	291	90.1%	

注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

注2:非金利収支 = 信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

■ポイント解説

▶ 預貸金利息 : 前年同期比 +12億円

…メイン化取引の推進や、政策金利引き上げにより
預貸金利息(Net)が増加

	24/12	25/12	前年同期比
3 貸出金利息	526	625	+98
5 預金等利息	▲33	▲120	▲86
預貸金利息(Net)	492	504	+12

▶ 有価証券利息配当金 : 前年同期比 +33億円

…出資先(※)のEXIT等によりファンド収益が+37億円
※きらぼしキャピタル運営ファンド等

	24/12	25/12	前年同期比
3 有価証券利息配当金	131	164	+33

経常利益

前年同期比 +24.2%

(301億円 → 375億円)

四半期純利益

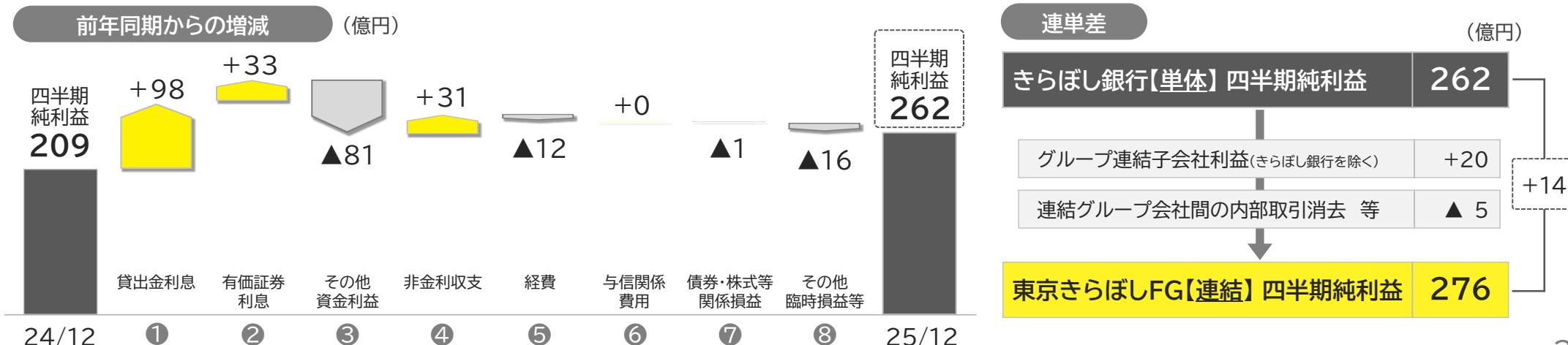
前年同期比 +24.9%

(209億円 → 262億円)

四半期純利益の増減要因(きらぼし銀行)

※本頁の各計数の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

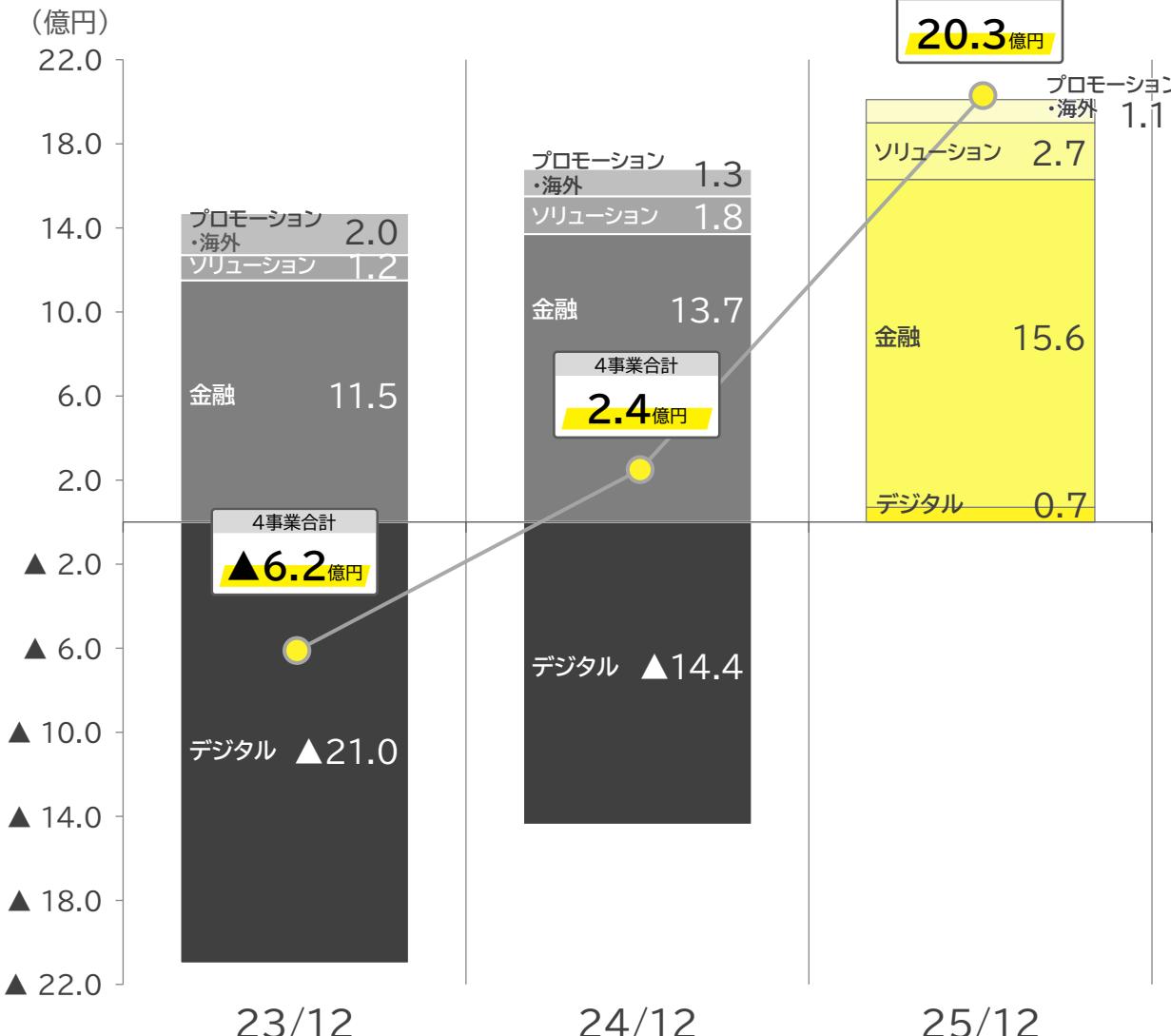
	主要項目	前年同期比	ポイント
①	貸出金利息	+98億円	メイン化取引の推進、お客さまとのリレーション強化の取組みにより貸出金が増加、また、政策金利上昇の影響等により貸出金利回りも上昇し、前年同期比+98億円
②	有価証券利息配当金	+33億円	ファンド収益の増加(+37億円)等により同比+33億円
③	その他資金利益 (預金等利息+その他利息)	▲81億円	金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比▲81億円 ▶ 預金等利息【24/12期】▲33億円 → 【25/12期】▲120億円 (▲86億円) ▶ その他利息【24/12期】▲22億円 → 【25/12期】▲17億円 (+5億円)
④	非金利収支 (信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く))	+31億円	円債及び外債のヘッジコストが減少したこと等により同比+31億円 ▶ 役務取引等利益(信託報酬含む)【24/12期】87億円 → 【25/12期】85億円 (▲2億円) ▶ その他業務利益【24/12期】▲28億円 → 【25/12期】5億円 (+34億円)
⑤	経費	▲12億円	事務委託費等物件費の増加等により同比▲12億円
⑥	与信関係費用	+0億円	貸倒実績率の上昇により貸倒引当金が増加した一方、金融再生支援や予兆管理強化等により費用発生が抑制され同比+0億円
⑦	債券・株式等関係損益	▲1億円	債券の売却損が減少した一方、株式の売却益の減少等により同比▲1億円 ▶ 国債等債券損益【24/12期】▲31億円 → 【25/12期】4億円 (+35億円) ▶ 株式等関係損益【24/12期】98億円 → 【25/12期】60億円 (▲37億円)
⑧	その他臨時損益 特別損益・法人税等合計	▲16億円	法人税等の増加(▲24億円)などにより同比▲16億円
計		+52億円	



グループ会社利益（きらぼし銀行を除く）

グループ会社利益は20億円(前年同期比+17.8億円)となり、「デジタル事業」の黒字化がプラス寄与
金融支援やソリューション提供等、取引の複合化をグループ一体で推進し、年度計画30億円の利益を目指す

事業別グループ会社利益推移



デジタル事業

UI銀行
きらぼしテック

金融事業

東京きらぼしリース
きらぼしキャピタル
きらぼしライフデザイン証券
きらぼし債権回収
きらぼしインシュアランスエージェンシー^{新規子会社}
きらぼしJCB
きらぼし信用保証
八千代信用保証

ソリューション事業

きらぼしコンサルティング
きらぼしシステム
アイティーシー
きらぼしごとくオフィスサービス

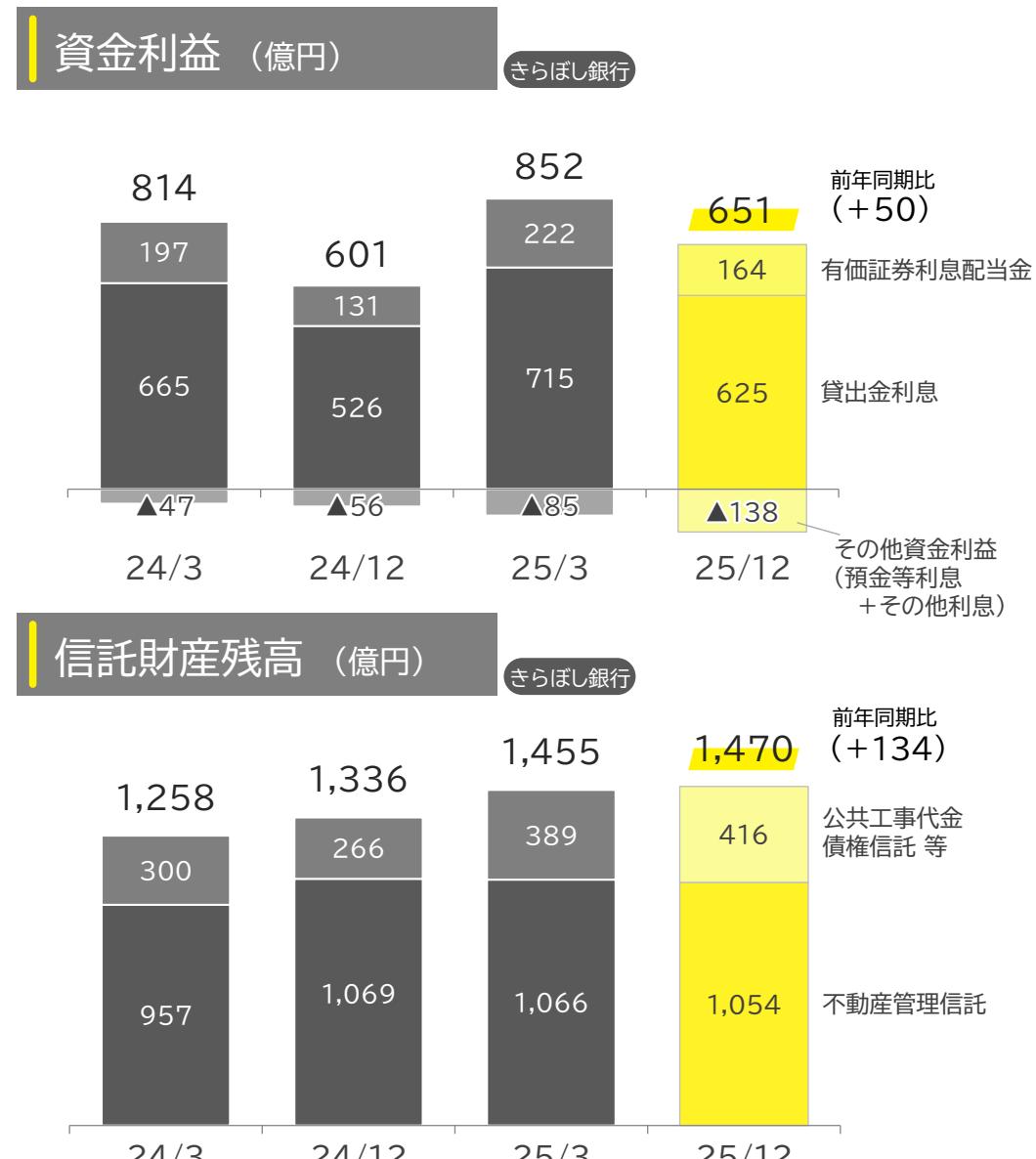
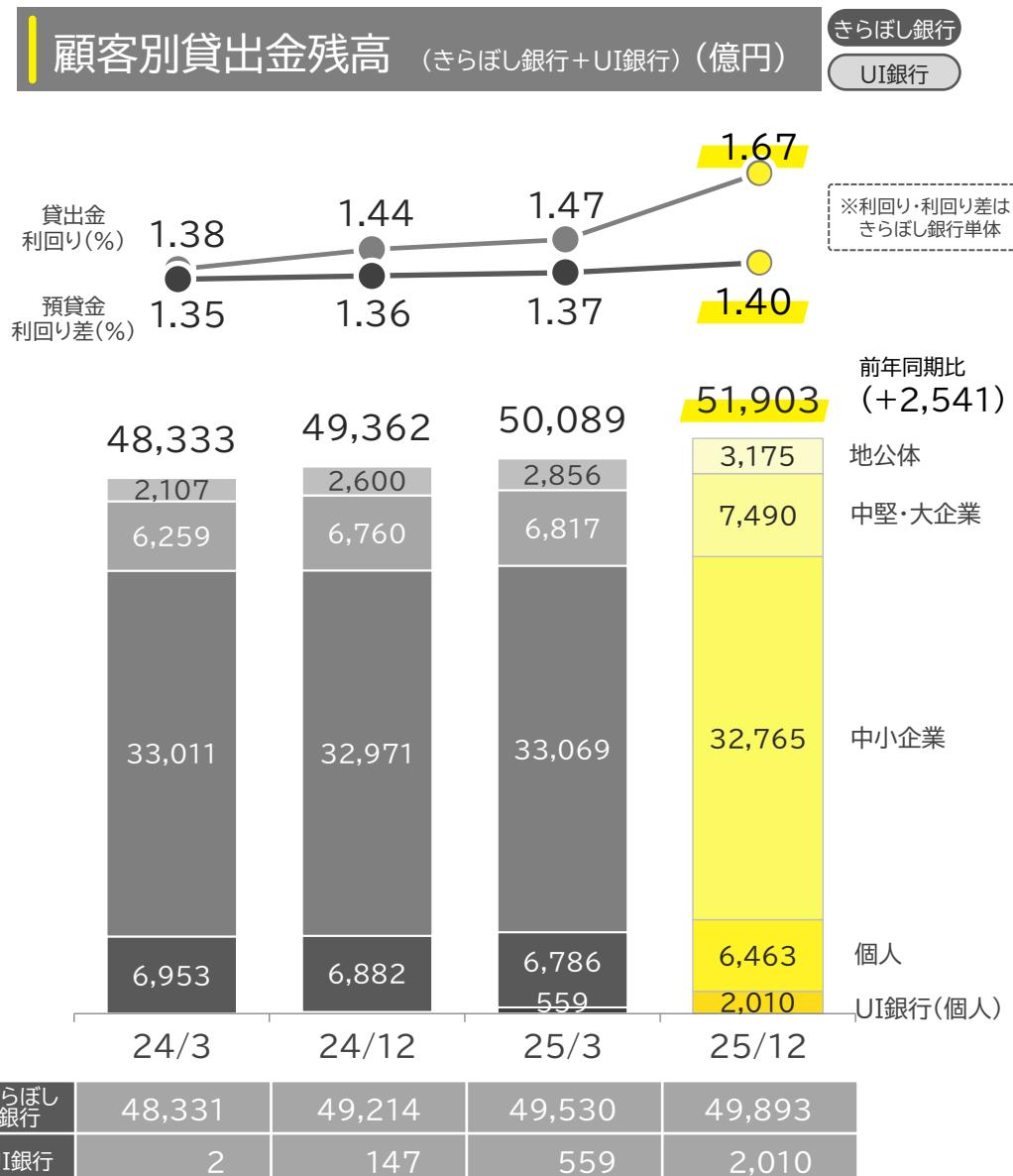
プロモーション・海外事業

ビー・ブレーブ
きらぼしビジネスサービス
綺羅商務諮詢(上海)
信銘冠嘉商務諮詢(北京)

KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM

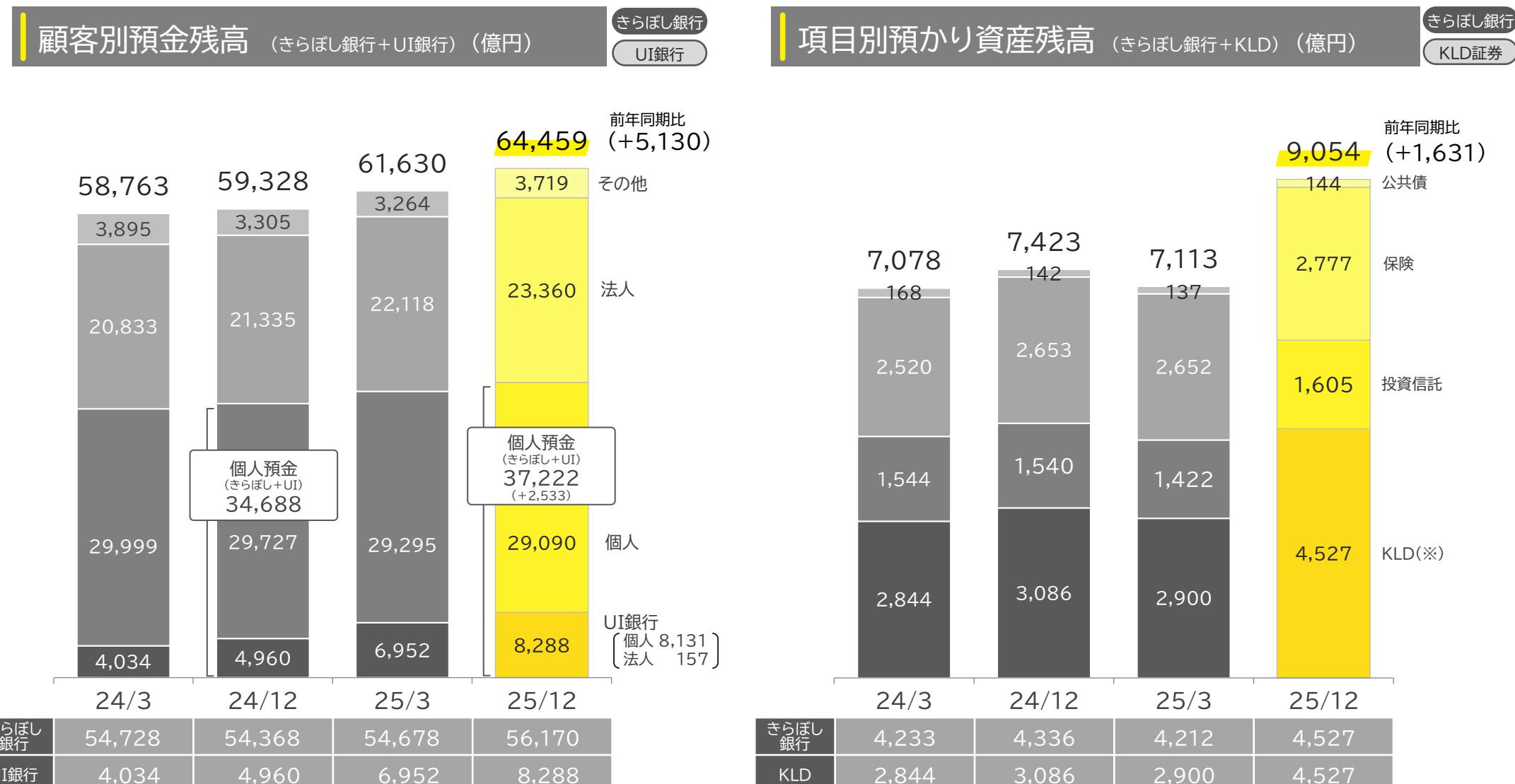
貸出金・信託財産

メイン化取引の推進や政策金利上昇の影響等により、貸出金利回りが上昇し、預貸金利回り差が拡大
金利上昇に伴い預金等利息が増加する一方で貸出金利息も増加し、資金利益全体の増加基調は継続



預金・預かり資産残高

グループ合算預金残高(きらぼし銀行+UI銀行)は、UI銀行の預金を中心に増加し、前年同期比+8%と着実に預金確保
預かり資産残高は、KLD証券での投資信託の増加や他社からの株式移管の推進等により、全体で1,631億円増加



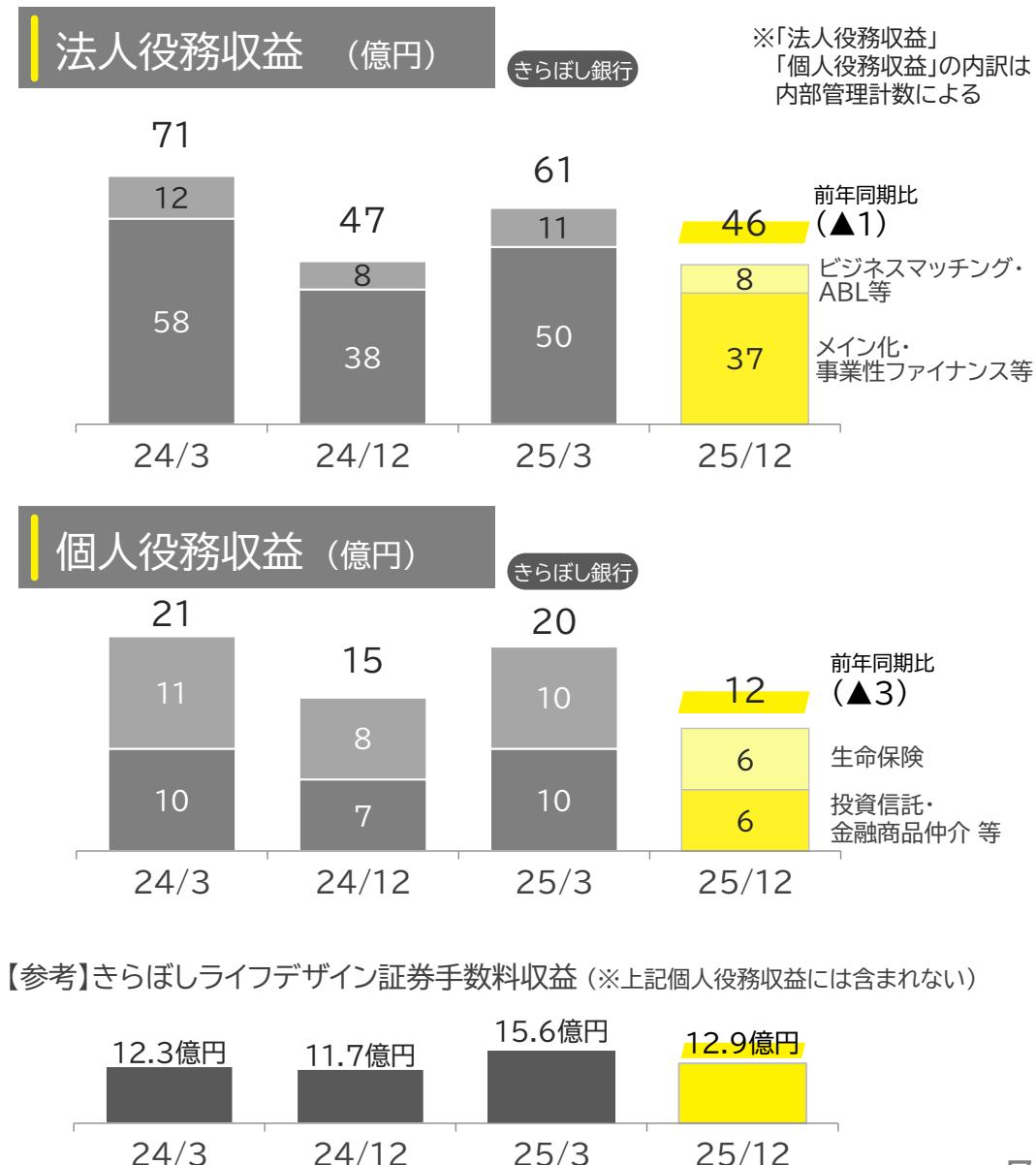
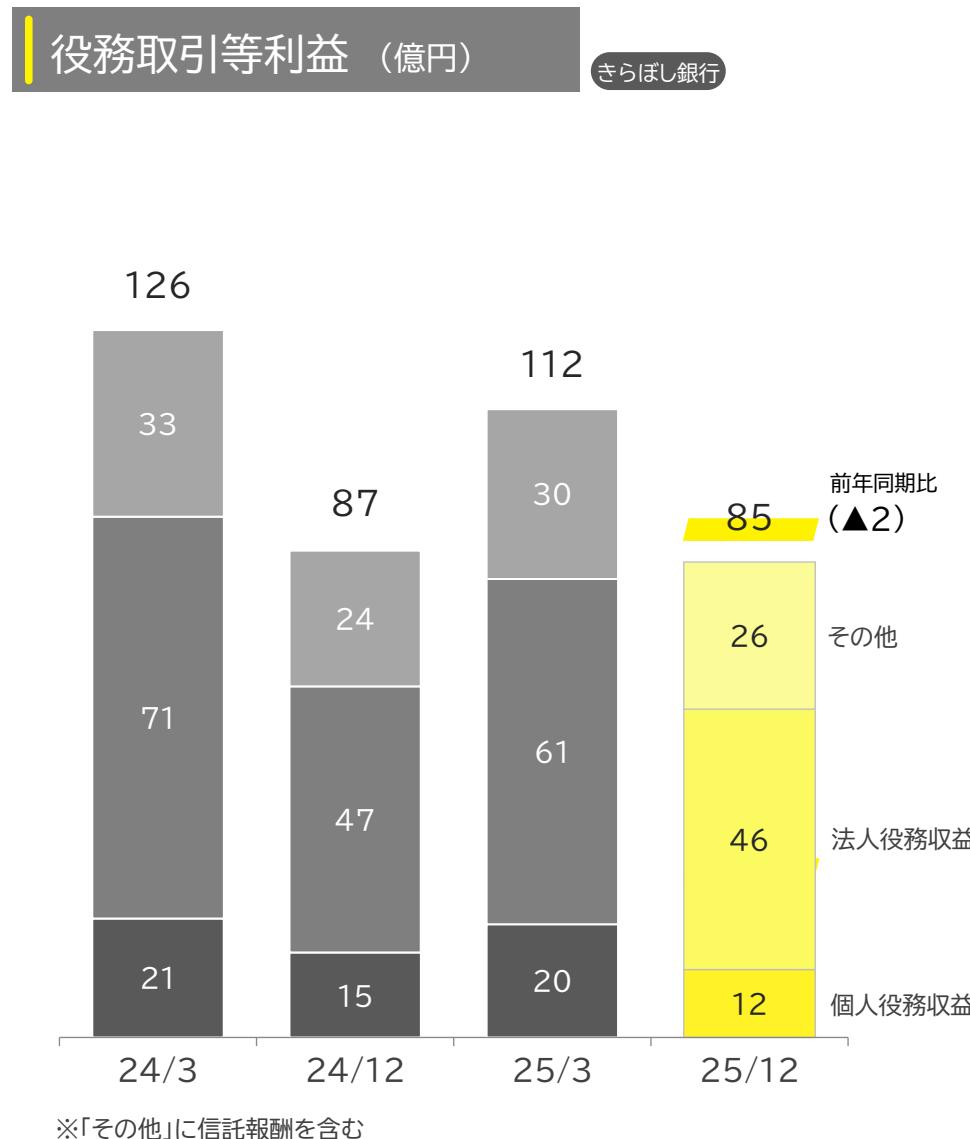
※譲渡性預金を含まない

※25/3期以前のUI銀行の数値は「個人預金」のみ

※KLD:きらぼしライフデザイン証券

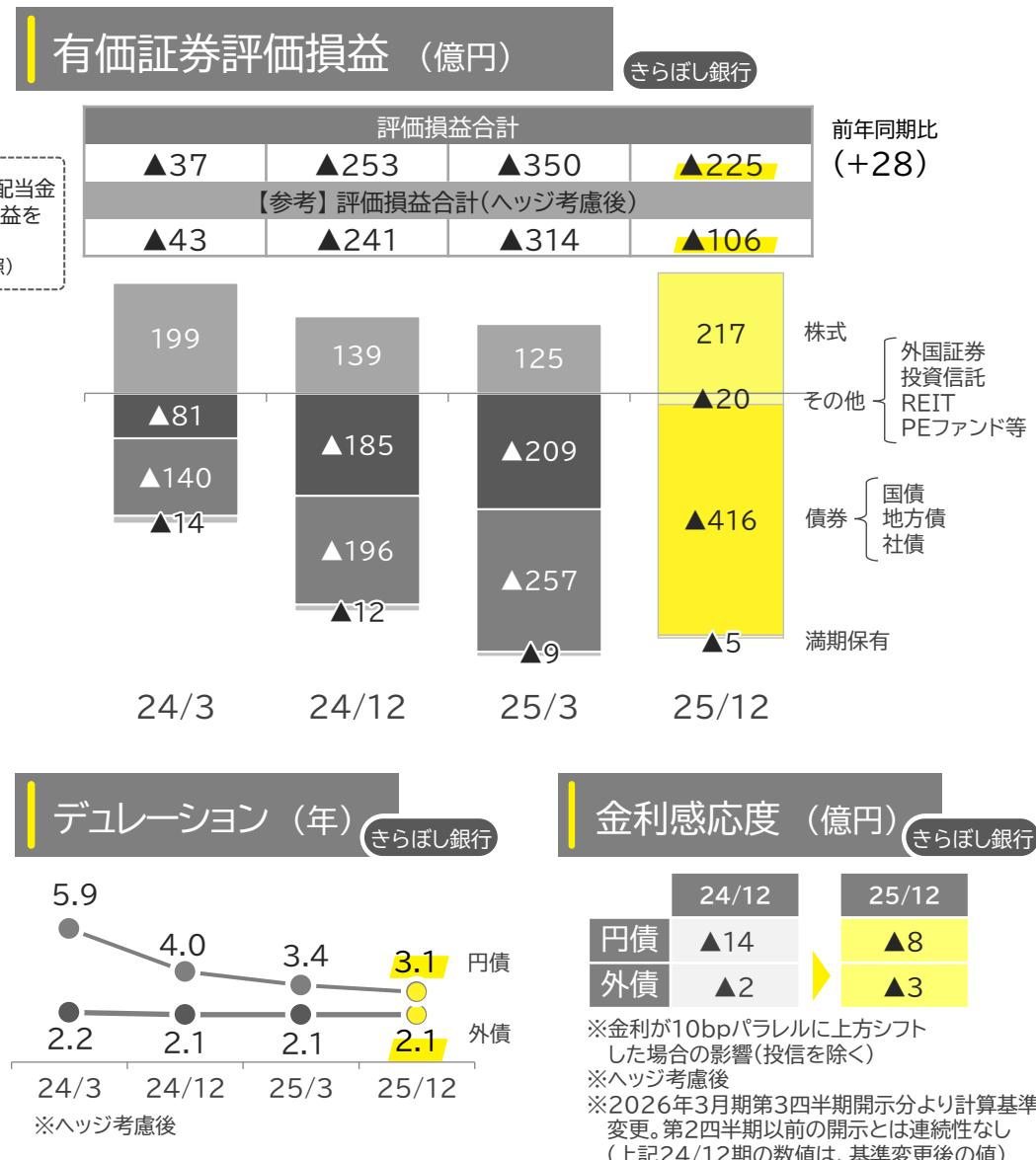
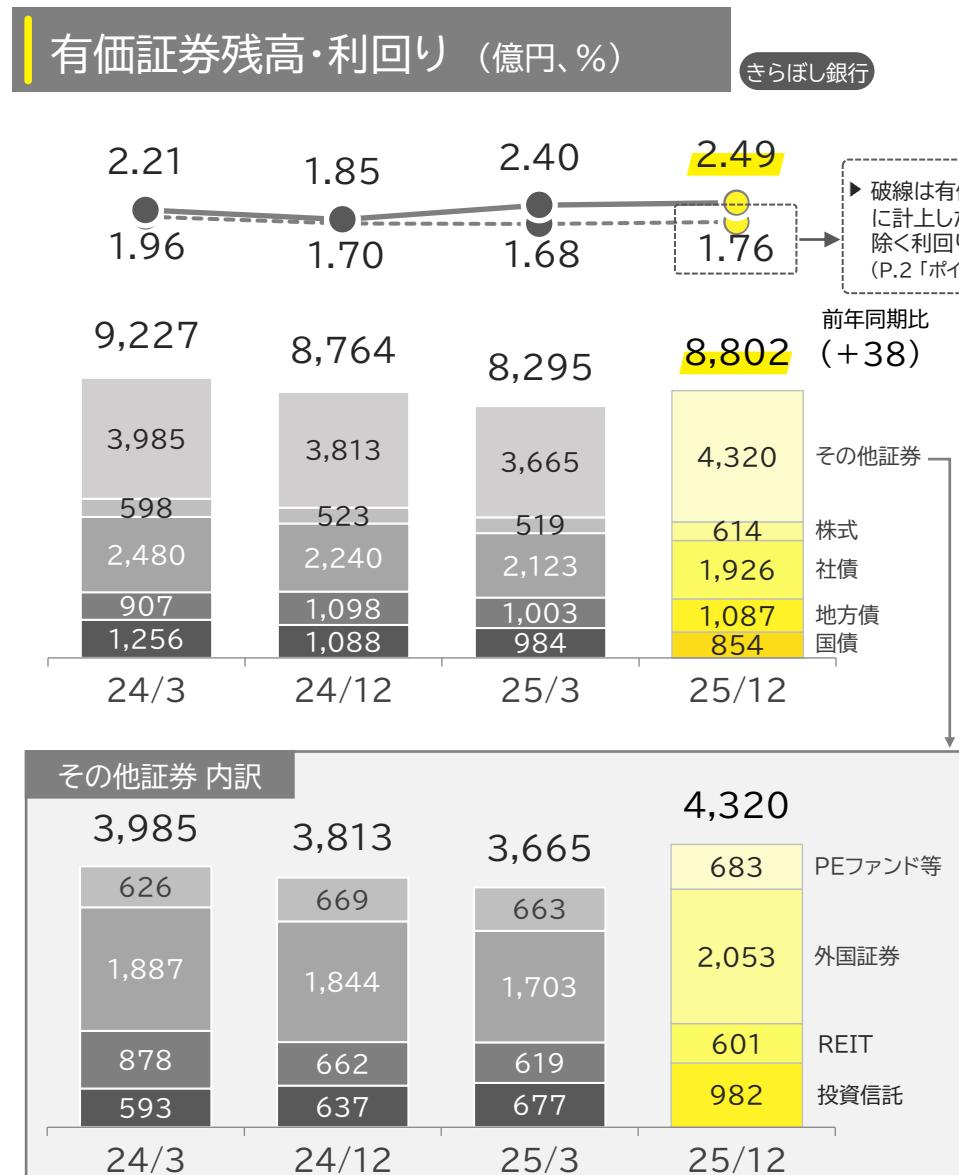
役務取引等利益

法人役務収益は事業性ファイナンス等に関連する収益が微減し前年同期比▲1億円
個人役務収益は同比▲3億円となった一方、KLD証券の手数料収益は引き続き増加基調



有価証券

ファンド収益の増加等により、有価証券利回りは2.49%と上昇(前年同期比+0.63%pt)
更なる金利上昇に備え、ヘッジオペレーションによるリスクコントロールを引き続き実施

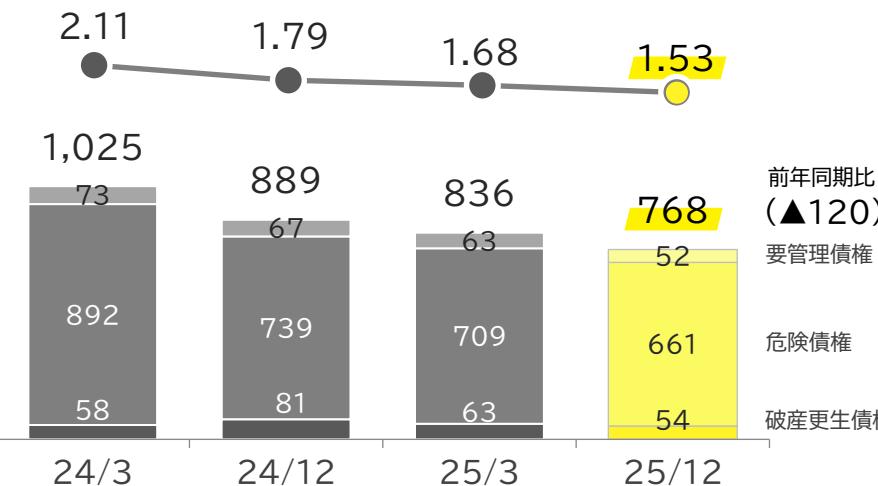


金融再生法開示債権・自己資本比率

開示債権比率は低下基調継続、与信費用は費用発生の抑制等により、年度計画(50億円)対比低水準で推移
リスク・アセットが増加した一方、利益の積上げにより自己資本が増加し、前年同期比で自己資本比率は上昇

| 開示債権額・比率 (きらぼし銀行) (億円、%)

きらぼし銀行



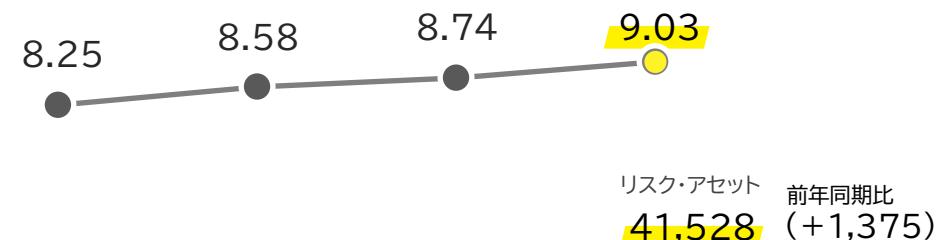
前年同期比
(▲120)
要管理債権

危険債権

破産更生債権

| 自己資本比率 (東京きらぼしFG連結) (億円、%)

FG連結

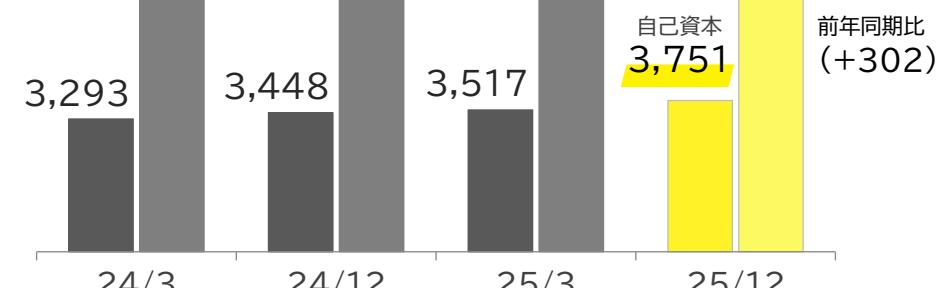


リスク・アセット 前年同期比
41,528 (+1,375)

| 与信関係費用 (きらぼし銀行) (億円)

きらぼし銀行

	24/12	25/12	前年同期比
① 一般貸倒引当金繰入額	▲9	1	+10
② 不良債権処理額	25	14	▲10
うち個別貸引繰入額	21	10	▲10
③ 貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用 (①+②-③)	16	15	▲0



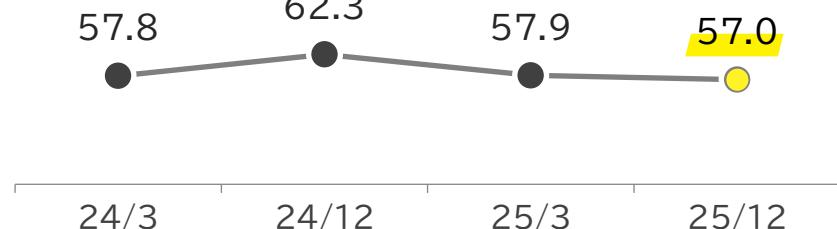
自己資本
前年同期比
(+302)

コアOHR・ROE・配当金

経費が増加した一方で、コア業務粗利益の増加が寄与し、コアOHRは前年同期比5.3%pt改善
FG四半期純利益の大幅な増益により、ROEは前年同期比1.9%pt上昇し、9%台と高水準で推移



$$\text{※ コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \times 100$$



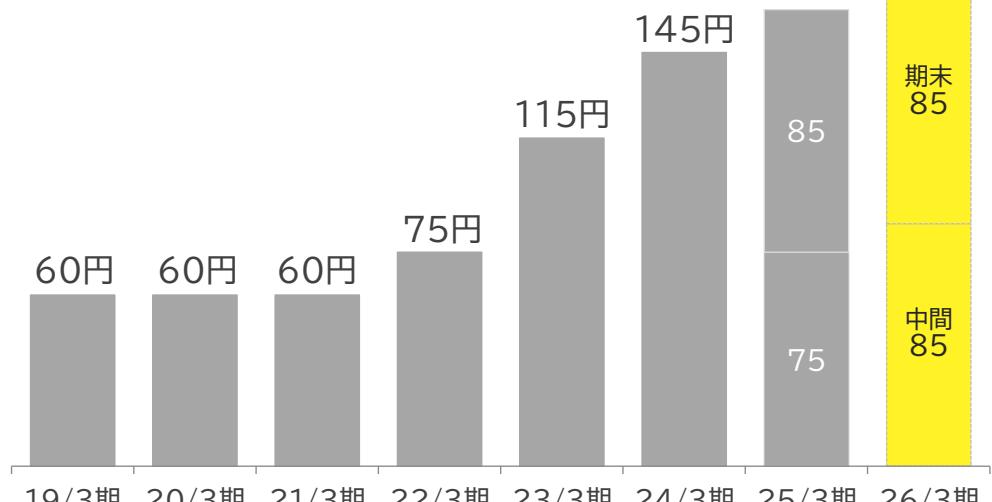
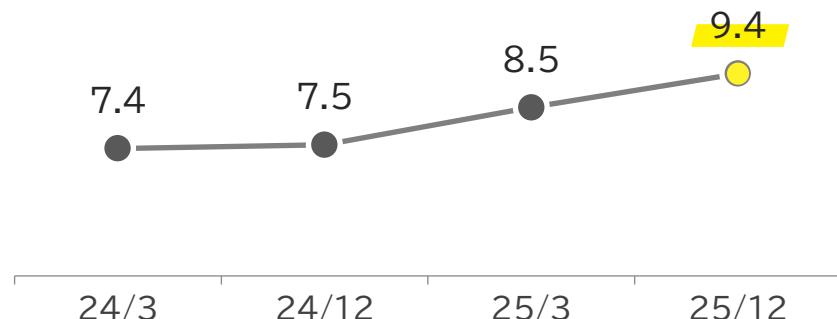
FG連結

▶ 予想年間配当金は**170円**と5期連続増配予想、一方、配当性向は低水準で推移

▶ 優先株式の償還原資確保のため、内部留保を蓄積



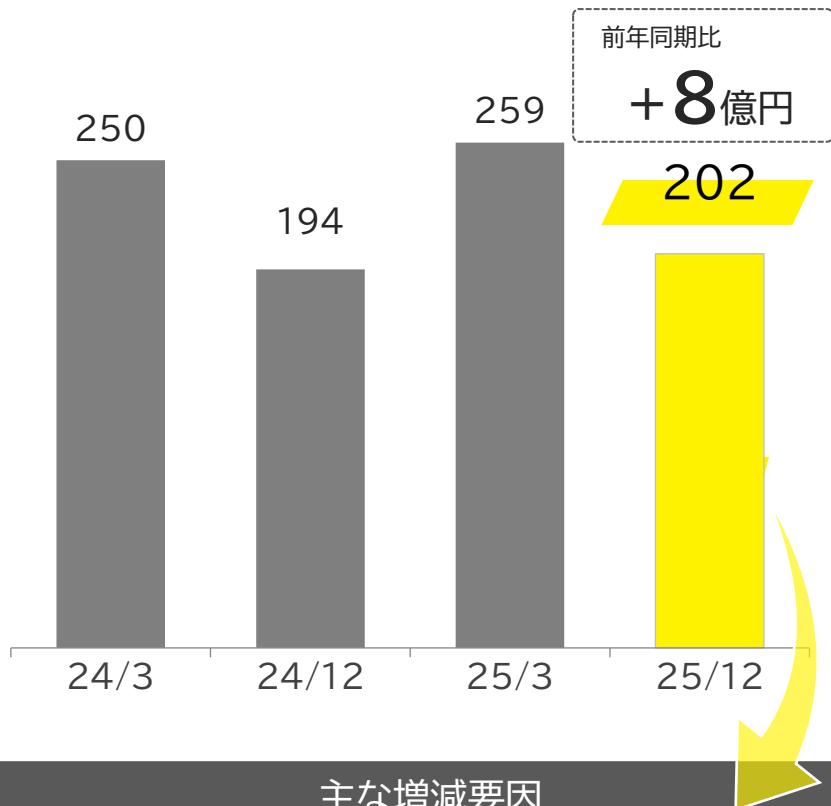
$$\text{※ ROE(25/12期)} = \frac{\text{四半期純利益}/275日 \times 365日}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2} \times 100$$



<参考>顧客向けサービス業務利益 / 金利上昇の影響試算

顧客向けサービス業務利益(※1) (億円)

きらぼし銀行



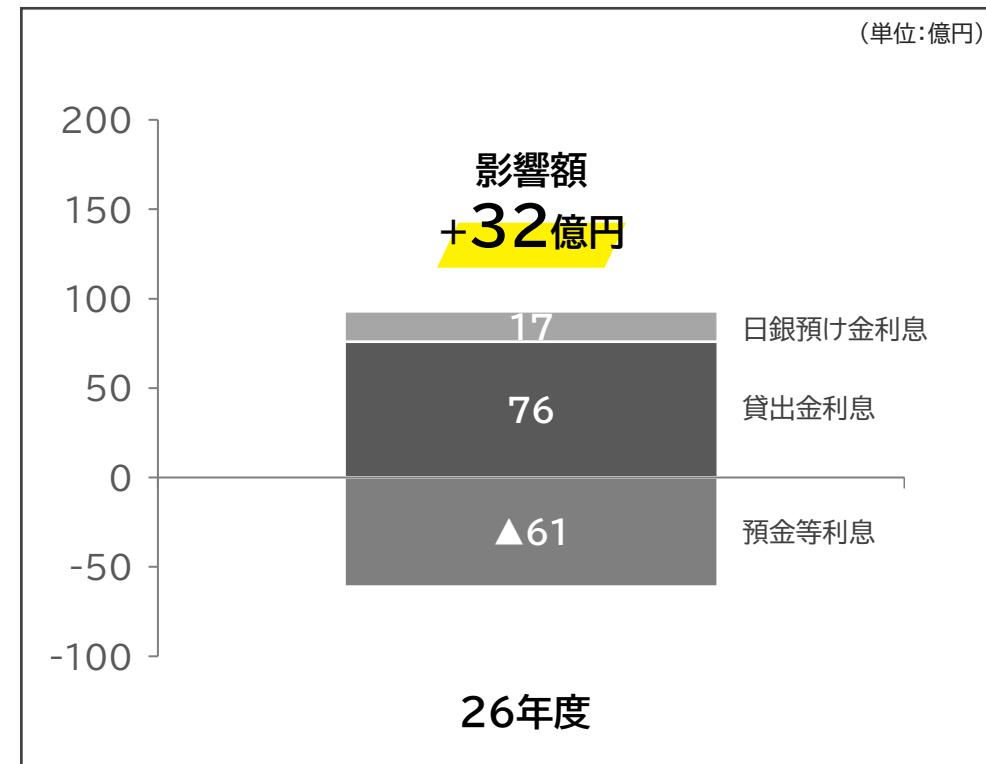
増加：貸出金残高（前年同期比 +679億円）
預貸金利回り差（前年同期比 +0.03%pt）

※1 算出方法：(貸出金残高×預貸金利回り差)+役務取引等利益－営業経費
※2 役務取引等利益は、信託報酬を含む

金利上昇の影響試算 (億円)

きらぼし銀行

■ 2025年12月の政策金利上昇(+0.25%)による影響



【前提条件】

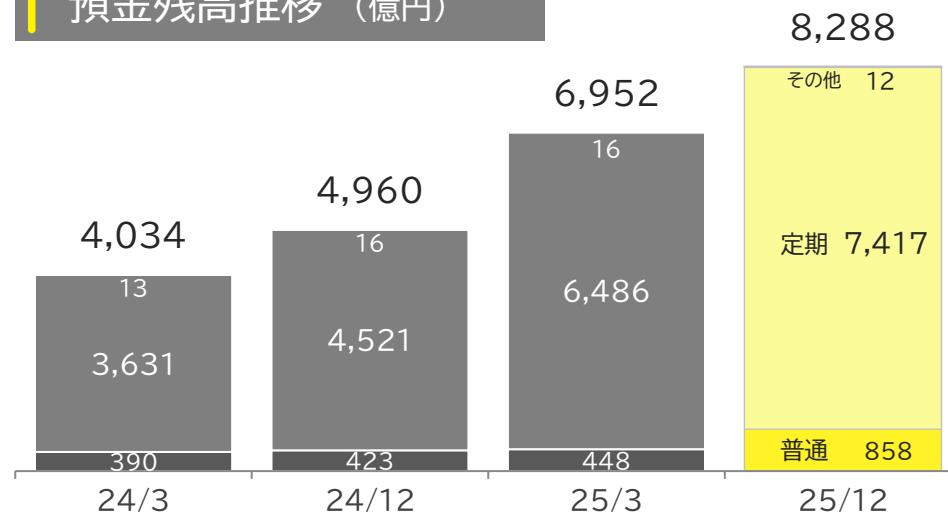
- 2025年12月に政策金利が0.25%上昇し、0.75%で推移した場合の2026年度の影響を試算
- きらぼし銀行単体の影響(UI銀行の預貸金の影響は考慮せず)
- 貸出金及び預金の残高は、2026年度末の想定値

①ローン実行増加によるフィーの獲得、②ローン残高増加による貸出金利息の積み上げに加え、
③給振口座の獲得等粘着性の高い普通預金の積み上げによる預金利息の抑制により収支の改善を目指す

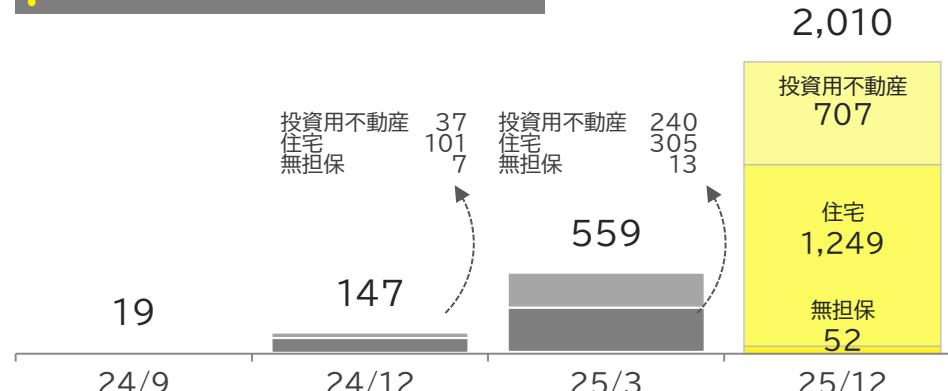
UI銀行 業績サマリー (億円)

	24/12 <実績>	25/12 <実績>	前年同期比
1	コア業務粗利益	13	25
2		12	6 ▲5
3		21	46 +25
4		0	3 +3
5		▲10	▲49 ▲38
6		1	5 +4
7		1	19 +17
8		▲27	▲35 ▲7
9		▲13	▲9 +4
10		▲0	0 +0
11		—	10 +10
12		▲14	0 +14
13		▲14	0 +14

預金残高推移 (億円)



ローン残高推移 (億円)



注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

注2:非金利収支=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

※住宅ローンは2024年8月より取扱開始

※投資用不動産ローンは2024年12月より取扱開始